

令和5年度 第1回匝瑳市市民協働推進協議会 会議結果概要

- 開催日時 令和5年11月21日（火） 午前10時から午前11時5分まで
- 場 所 匝瑳市役所議会棟 第3委員会室
- 出席委員 平山新治委員、加瀬功一委員、新井佳余子委員、戸村光男委員、
大木忠委員、伊藤北斗委員、鶴澤和子委員、渡辺琴子委員、
（8名）名簿順
（欠席委員）大木悟委員（1名）
- 市出席者 （事務局／環境生活課）林雅之課長、小林直己副主幹、米本孝之主査補

発言者	内 容
	1. 開 会 2. あいさつ（林環境生活課長） 3. 委員紹介 《委員改選後、初めての協議会のため、事務局より委員を紹介する。》 4. 議 事 （1）会長、副会長の選出について 《各委員からの質問・意見》
A委員 事務局	・事務局案があれば伺いたい。 ・会長に平山新治委員、副会長に加瀬功一委員を推薦する。平山委員については匝瑳市社会福祉協議会会長を務めており、加瀬委員については匝瑳市ボランティア連絡協議会の会長を務めている。2人とも市民協働に精通している。 ・ご承認については如何か。 《拍手により承認多数》 《会長に平山新治委員、副会長に加瀬功一委員が決定した。》
会 長	《平山会長あいさつ》
	（2）市民提案型事業提案書の審査 《提案者から事業について説明》 《市ホームページ掲載の匝瑳市市民提案型事業の採択結果を参照》 《各委員からの質問・意見》
B委員	・都会からなぜ匝瑳市へ移住したのか。また、事業を行うきっかけについて伺いたい。
提案者B	・結婚を機に移住した。働きながら妻を助けたいという思いから、友人の紹介を通じて事業を始めた。
副会長	・隣の市では同様の事業を行っている。一石を投じてくれた。子ども食堂につ

	いても挑戦は素晴らしい。食料品を集めて配るという事であるが、スタッフなど現在の状況について伺いたい。
提案者A 副会長	・正会員6名とサポーター会員は2名を予定している。 ・子ども食堂や今後予定しているキッチンカーなどは、発展性がある。他団体との連携をどう考えているか。
提案者A	・子どもと繋がりのある団体等と活動していきたい。幼児関係施設、障がい者施設、就労施設などと活動範囲を広げていきたい。また、子ども食堂は国策でもあるので、新団体設立支援の助成金をいただき、他団体と協力した活動をもっと行いたい。
C委員	・どのように食料品を回収しているのか。期間や量について伺いたい。
提案者A	・個人への連絡や広報紙の活用、収集イベントの実施、商店から入替商品の提供、農家からの古米の提供などがある。特にお菓子が人気である。広報については、チラシが一番効果的である。公式インスタやラインも活用している。
C委員	・今回の提案書の中で、テントの購入があるが、市からの後援を受け、貸し出しを活用してはどうか。
D委員	・ボランティア情報誌タッチを見た。フードパントリーの記載の中で、キッチンカーを今後検討しているという事だが、調理師免許の取得など、安全面を主に考慮してほしい。保健所の指導も必要になってくる。周知の方法は、インスタやラインの活用ということであるが、廃棄予定品の回収のみで収支等でどれだけ継続していけるか。
提案者A	・キッチンカーを活用し、都内への営業も考えている。
D委員	・準備を慎重に行ってほしい。
会 長	・（私個人としても）賛成し、協力したいと考えている。その上で再確認したい、配布する対象者をどのように考えているのか。提案書の中で、200Vの炊飯器の購入があるが、購入し、どう運営するのか。また、子ども食堂は、キッチンカーの活用か、施設で行うのか。
提案者A	・子どもや子育て世代を主としている。学校とも協力し、食料品をもらいに行くことが恥ずかしいという考えをなくし、オープンにしたい。炊飯器は、自身のお店で炊飯し、保温機能を利用して、キッチンカーを活用し、調理したものと併せて運ぶ予定である。 《質疑応答終了》 《審査基準に基づく審査》 《審査結果の報告》
	5. 閉 会 以 上